

2009.06.06 - 2009.06.12

武漢市は 3000 台のレンタサイクルと 90 ヶ所の自転車サイクルポートを新規増設

5月1日から武漢三鎮にある3000台近くのレンタサイクルを武漢市民に無料で提供している。昨日、これらの自転車の置き場所となる90ヶ所のサイクルポートが新たに着工された。

武漢市は年内に7つの中心地域と2つの開発区において、840ヶ所のサイクルポートを設置し、2.1万台の自転車を武漢市民に無料で提供する計画を立てている。この巨大な自転車サービスシステムは政府の事業と、企業が実施によるという方式を採用している。これまでに、龍騎、鵬程、鑫飛達3社の自転車会社が落札し、その中でも龍騎会社が去年11月から青山区でレンタサイクルのモデル試験を行った。しかし、今回は5月1日に設置した3000台の自転車と90ヶ所の自転車サイクルポートはすべて鑫飛達会社によって落札された。この90ヶ所の自転車サイクルポートは武昌区、洪山区、硤口区、漢陽区、東湖ハイテク開発区と武漢経済開発区にそれぞれ設置され、5月末に竣工する見込みだ。

6月下旬から武漢市民は身分証明書或いは戸籍証明書などによって、各サイクルポートで自転車レンタル用の「信用カード」を申請することができる。市外の農民工も勤務先の証明書で、申請することが可能である。また市民はこの6つの地域にまたがって、自転車を自由に借りたり、返したりすることができる。

上海航空会社、東方航空会社と合併予定

中国新聞社によると、上海航空会社はその競争相手である中国東方航空と合併する予定である。この二つの航空会社は長期にわたり、赤字を出し続けたため、合併によって相互の競争圧力を軽減していく見込みだ。また合併は双方の株主が株を交換するという形で実現し、詳細については今日より公表される。

情報によると、今回の合併案は、上海航空の持株比率を7.93%から23.62%に引き上げた錦江国際会社が、そのうちの17.05%の株を東方航会社の本社である中国東方航空集団会社に譲渡するものである。

合併後の新会社は上海航空観光市場の半分以上を占める見込みだ。中国旅行市場は不況のため、上海航空と東方航空両会社は国有航空会社として赤字を公表した後、借金を返済するために、政府から支援を受けることになった。そして、両社の株は昨日一時的に取引を中止した。